

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公開番号】特開2007-312957(P2007-312957A)  
 【公開日】平成19年12月6日(2007.12.6)  
 【年通号数】公開・登録公報2007-047  
 【出願番号】特願2006-144889(P2006-144889)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月22日(2009.5.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前面に遊技領域を有する遊技盤と、

該遊技盤の盤面に対して受入口を設けた入賞口、及び該入賞口に連通し前記遊技盤の奥側に延出された入賞通路を有する入賞装置と、

前記入賞通路内に収容される没入位置と前記入賞口から遊技者側に突出する突出位置との間で摺動可能に支持され、前記遊技領域を通過する遊技媒体を前記突出位置において受け止めるとともに受け止めた遊技媒体を前記入賞口内に誘導する受止誘導部材と、

該受止誘導部材を前記没入位置と前記突出位置との間で摺動させる第一駆動源と、

遊技状態に基づいて前記第一駆動源を制御し、前記受止誘導部材を前記没入位置から前記突出位置に変位させ、前記入賞口に対して遊技媒体の入賞を可能にする入賞制御手段と、

前記入賞通路内の前記受止誘導部材の上方に配設され、前記受止誘導部材が前記没入位置のときに、先端側の部位を前記入賞口の近傍に位置させ遊技媒体の進入を防止する進入防止位置と、前記受止誘導部材が前記突出位置のときに前記入賞通路の奥側に後退することにより前記入賞口を開放し遊技媒体の進入を可能とする進入許可位置との間で摺動可能に支持された入賞防止部材と、

該入賞防止部材を、前記進入防止位置と前記進入許可位置との間で動作させる第二駆動源と

を具備することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前面に遊技領域を有する遊技盤と、

操作ハンドルの操作に応じて前記遊技領域へ遊技球を発射する発射装置と、

前記遊技領域に配設され前記遊技球の転動方向を変化させる障害釘と、

前記遊技盤の盤面に対して受入口を設けた入賞口、及び該入賞口に連通し前記遊技盤の奥側に延出された入賞通路を有する入賞装置と、

前記入賞通路内に収容される没入位置と前記入賞口から遊技者側に突出する突出位置との間で摺動可能に支持され、前記遊技領域を通過する遊技球を前記突出位置において受け止めるとともに受け止めた遊技球を前記入賞口内に誘導する受止誘導部材と、

該受止誘導部材を前記没入位置と前記突出位置との間で摺動させる第一駆動源と、  
遊技状態に基づいて前記第一駆動源を制御し、前記受止誘導部材を前記没入位置から前  
記突出位置に変位させ、前記入賞口に対して遊技球の入賞を可能にする入賞制御手段と、  
前記入賞通路内の前記受止誘導部材の上方に配設され、前記受止誘導部材が前記没入位  
置のときに、先端側の部位を前記入賞口の近傍に位置させ遊技球の進入を防止する進入防  
止位置と、前記受止誘導部材が前記突出位置のときに前記入賞通路の奥側に後退すること  
により前記入賞口を開放し遊技球の進入を可能とする進入許可位置との間で摺動可能に支  
持された入賞防止部材と、  
該入賞防止部材を、前記進入防止位置と前記進入許可位置との間で動作させる第二駆動  
源と、  
前記入賞口に前記遊技球が入賞したことを検出する入賞状態検出手段と、  
少なくとも該入賞状態検出手段による遊技球の検出に基づいて所定数の遊技球を払出す払  
出装置と  
を具備することを特徴とする遊技機。

**【請求項 3】**

前記第一駆動源及び前記第二駆動源は、単一の駆動源からなる  
請求項 1 または 2 に記載の遊技機。